

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年08月19日

計画の名称	冬期間における通学路や生活道路の安心・安全の確保を目指す雪対策													
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	弘前市													
計画の目標	弘前市融雪等推進基本計画に基づく冬期間の雪対策整備の重要箇所について、融雪施設を整備することにより安全で防災力の高いまちづくりを図る。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		1,178	A	1,178	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (R2末)
1	通学路における交通事故件数の10.0%減少 小・中学生の交通事故減少率 当初交通事故発生件数は平成27年度とする (36件 - 32件) ÷ 36件 × 100% = 10% (小・中学生の交通事故減少率) = (当初交通事故発生件数 - 整備年度交通事故発生件数) ÷ 当初交通事故発生件数 × 100%	0%	%	10%
2	市街地の生活道路等における融雪施設整備率を5.2%から11.6%まで向上させる。 融雪施設整備率 15.9km ÷ 137.1km × 100% = 11.6% (平成27年度未整備済、融雪施設 7.1km) (融雪施設整備率) = (整備延長 ÷ 弘前市融雪等推進基本計画整備延長) × 100%	5%	%	12%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	弘前市	直接	弘前市	市町村道	交安	(他)松原東2丁目7号線 ほか5路線 松原小学校(25-A1)	散水消雪施設 L=1.29km	弘前市						44	-		
	A01-002	道路	雪寒	弘前市	直接	弘前市	市町村道	雪寒	(他)豊田4号線 城東5丁目(25-A3)	散水消雪施設 L=0.38km	弘前市						73	-		
	A01-003	道路	雪寒	弘前市	直接	弘前市	市町村道	雪寒	(1)富田樹木線 桔梗野1丁目(25-A23)	無散水消雪施設 L=0.08km	弘前市						6	-		
	A01-004	道路	雪寒	弘前市	直接	弘前市	市町村道	除雪	(他)十面沢笹館線ほか338路線(25-A27)	除雪 L=379.3km	弘前市						1,013	-		
	215/年																			
	A01-005	道路	雪寒	弘前市	直接	弘前市	市町村道	除雪(機械)	(1)撫牛子と徳町線ほか338路線(25-A28)	大型除雪機械 N=10台	弘前市							42	-	
												小計						1,178		
												合計							1,178	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
取りまとめ団体である弘前市において実施	令和3年8月
	公表の方法
	交付対象各市町村のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松原東2丁目7号線ほか5路線（弘前市）の融雪事業により、通学路における散水消雪施設の整備が図られ、通学児童の交通安全に寄与した。</li> <li>・城東3丁目1号線ほか1路線（弘前市）の融雪事業により、地域の生活道路における散水消雪施設の整備が図られ、冬期間における交通安全に寄与した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
継続事業については他事業に移行の上、引き続き事業の進捗を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	10%
	最終実績値	6%
除雪事業等、他事業の進捗を図ったため。		
2	最終目標値	12%
	最終実績値	6%
除雪事業等、他事業の進捗を図ったため。		